



こんにちは。
町長です。

歌舞伎のまちづくり

日口小鹿野町歌舞伎訪問団による小鹿野子供歌舞伎のロシア・ウラジオストクのフィルハーモニー劇場での公演は、大成功のうちに終了することができました。

この初の海外公演の内容は、広報おがの9月号で掲載させていただきましたので、町民の皆様にはご覧いただいたことと存じます。この公演は小鹿野町にとっては一大慶事であり、日露交流の一翼を担うことができたことも素晴らしい事業であったと思います。

この訪問団の団長をお努めいただいた小鹿野町広報大使の山口清文さん（小鹿野歌舞伎保存会顧問）には、この事業の企画段階から外務省との交渉をはじめとする関係機関との調整にお骨折りをいただきました。山口さんのご努力と小鹿野歌舞伎保存会会長の堀口武治さんをはじめとする保存会会員の絶大なるご協力により、今回の大成功につながったと思います。

また、役者として参加していただいた小・中学生、高校生の10名の皆様には、勉学の忙しい中、稽古を重ねていただき、その成果を十二分に発揮していただきました。

歌舞伎を海外で公演できたことに子供たちもきっと

大きな自信となり、これから的人生を生きて行くうえで大きな財産になったと思います。

この事業については、国内外のマスコミにも大きく取り上げていただき、歌舞伎のまち・小鹿野を広く周知できました。訪問団が帰国した翌日に埼玉県の上田清司知事へ、山口団長をはじめロシア語で口上を披露した飯塚光留さん（高校2年生）、黒澤智美さん（中学3年生）などと一緒に訪問し、報告をいたしました。上田知事にも大変喜んでいただき、小鹿野町の文化の厚みにお褒めの言葉を賜りました。

小鹿野歌舞伎は町にとって大きな財産で、全国に誇れるものであると思います。これからも小鹿野歌舞伎を継承・発展させていただくには、歌舞伎関係者の皆様に引き続き格別なご尽力を賜らなければなりません。文化は一朝一夕には育ちません。町としては歴史と伝統のある小鹿野歌舞伎に出来る限りの支援をしていかなければならないと存じます。

そして、小鹿野歌舞伎を文化だけに限らず幅広く、小鹿野町のまちづくりのため、地域の活性化につながるように生かしていくかねばならないと思います。花と歌舞伎と名水のまちの小鹿野町のキャッチフレーズにふさわしく1年中、小鹿野歌舞伎に触れられる場作りも課題であると存じます。

小鹿野町長 森 真太郎